

## 高陵コミュニケーションスキル 総合的な学習の時間、特別活動での指導内容の共有化

カリキュラムマネジメントの観点での校内共有化・総合的な学習の時間・特別活動での指導ポイント

No	項目	内容
1	評価基準の観点を明示	(1)目的意識、相手意識、規定の時間の条件を事前に示して評価させる。 (2)発表はメモで話すのを基本とし、視線は観客に送らせる。
2	主体的に聴く力の育成	(1)終了後に評価表記入を指示する。 (2)評価表記入後コメントを述べさせる。 (3)聴く側を教員が評価し、ほめる。
3	生徒の相互評価を設定	(1)発表前に相互評価の順番を決めておく。 (2)明らかに必要な場合だけ教員が修正する。 (3)司会は出来るだけ複数の生徒に担当させる。
4	派生する指導の共有化	(1)対話・インタビューは相手の話を聴きださせる。 (2)次の発表生徒は隣に待機させ時間の無駄をなくす。 (3)写真撮影など記録を分担する。
5	話し合い指導の共有化	話し合いの目的と手段を示して設定する。 <u>思考を広げる話し合い</u> <u>思考を収束する話し合い</u>

特別活動と各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などとの関連(学習指導要領 特別活動編 P.31)

学習指導要領第5章の第3の1の(2)で、次のとおり示している。

(2)各学校においては特別活動の全体計画や各活動及び学校行事の年間指導計画を作成すること。その際、学校の創意工夫を生かし、学級や学校、地域の実態、生徒の発達の段階などを考慮するとともに、第2に示す内容相互及び各教科、道徳科、総合的な学習の時間などの指導との関連を図り、生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにすること。また、家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫すること

### 本校の特色ある特別活動・総合的な学習の時間・道徳

	内容	特色	指導事項
学級活動	夢!自分発見!プログラム 大使館交流 キャリア講話 卒業生のお話を聴く会	NPO法人・企業との連携・コミュニケーションゲーム 講師に対する主体的な聴き方と質疑 インタビュー・少人数での交流活動 インタビュー形式の指導	第5章第2-2(3)イウ 第5章第2-2(3)ア 第5章第2-2(3)イ 第5章第2-2(3)ウ
生徒会活動	生徒総会 他学年交流勉強会	一往復半の答弁設定 上級生が下級生に学習方法・内容を助言する勉強会の設定	第5章第2-2(1) 第5章第2-2(2)
学校行事	運動会ダンスリーダー育成 あすチャレ(障害者スポーツ) 伝統文化鑑賞教室	自主的な話し合いによるダンス振付 講師に対する主体的な聴き方と質疑 講師に対する主体的な聴き方と質疑	第5章第2-2(3) 第5章第2-2(3) 第5章第2-2(2)
総合的な学習	日本文化体験発表会 職場体験発表会 修学旅行を下級生に伝える会	同学年への体験内容の伝達 同学年への体験内容のプレゼン制作 異学年への発表技術などの伝達	第5章第3節 4 考えるための技法の活用
道徳	授業者交換道徳授業	担当者が提案した授業を相互に実施	第4章第1節 3-(4)
地域行事	餅つき大会ボランティア	参加者への校舎見学ガイド	

総合的な学習の時間第3節 各学校において定める目標及び内容の取扱い(1)各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと